

## 亜セレン酸ナトリウム

別名:

$\text{Na}_2\text{SeO}_3 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$

毒物:(セレン化合物及びこれを含有する製剤)

(性状)白色の結晶状の粉末。水に溶けやすい(20℃で水100mlに46.2g溶ける)。

### 措 置

#### 漏 え い 時

多量に飛散した場合は風下の人を退避させる。

飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。

作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

飛散したものは空容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。

#### 出 火 時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)

-----  
(消火剤)

#### 暴 露・接 触 時

急性中毒と刺激性

(吸入した場合)

発熱、頭痛、気管支炎を起こし、はなはだしい場合には肺水腫を起こすことがある。

(皮膚に触れた場合)

皮膚に浸透し、痛みを与え、黄色に変色する。爪の間から入りやすい。

(眼に入った場合)

粘膜を刺激し、角膜などに障害を与える。

医師の処置を受けるまでの救急方法

(吸入した場合)

直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかみ、うがいさせる。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは、直ちに人工呼吸を行う。

(皮膚に触れた場合)

直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。

### 注 意 事 項

火災などで強熱されると酸化セレン(IV)の煙霧を発生する。

煙霧は有害なので注意する。

### 保 護 具

保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、防じんマスク

(火災時:空気呼吸器)